

2022

試験日：R3.10.16

令和4年度  
(2022年度)

私費外国人留学生選抜  
入学者選抜概要



茨城大学  
Ibaraki University

## ～ 私費外国人留学生選抜実施日程～

〈出願期間〉	令和3年9月29日（水）～10月1日（金）
〈試験期日〉	令和3年10月16日（土）
〈合格者発表日〉	令和3年10月28日（木）
〈入学手続期間〉	令和3年11月9日（火）～11月11日（木）

### ■ 年号表記について

本文中に記載されている，下記左欄の年号表記は，同右欄の西暦に対応しています。

年号表記対応表	
年号	西暦
令和3年	2021年
令和4年	2022年

■ 本募集要項に記載されている日時は，日本標準時に基づいています。

## 目

## 次

茨城大学のアドミッション・ポリシー	1
1. 募集人員	9
2. 出願要件	10
3. TOEFL, TOEIC 及び IELTS の成績証明書	12
4. 選抜方法	13
5. 配点	14
6. 障害等のある入学志願者の事前相談	15
入学者選抜に関する問い合わせ先	(裏表紙)

# 茨城大学のアドミッション・ポリシー

茨城大学では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者に対して、適切な方法の選抜を行って入学者を決定します。なお、それらの内容の詳細は、学部・学科（課程・コース等）毎に異なります。

- 1.（知識・技能）大学における専門分野の学修に必要な基礎学力を有していること
- 2.（知的関心）自分の身近な事柄だけでなく、地域の事象、自然環境、国際社会、人間と多様な文化等の広い分野に対する知的関心を有していること
- 3.（思考力・判断力・表現力）これまでの学習と生活において他者と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
- 4.（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

## ◆各学部・学科等のアドミッション・ポリシー◆

### 人文社会科学部

#### [入学者に求める能力・資質]

人文社会科学部では、文系総合学部としての特徴を生かし、主専攻であるメジャーと副専攻であるサブメジャーの複合による学修を通じて、人間の文化と社会活動に関する専門性を持ちながら、世界のさまざまな「地域」で生き生きと働き、活躍できる人材を育成します。

したがって、人文社会科学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

- 1.（知識・技能）人文社会科学部における専門分野の学修に必要な基礎学力
- 2.（知的関心）
  - ア）現代における地域・国際社会とメディア、法律と経済、人間と多様な文化などの広い分野についての知的関心
  - イ）大学での学びを通じてこれらを探究し、自らを高め、成長したいという積極的な意欲
- 3.（思考力・判断力・表現力）
  - ア）さまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
  - イ）さまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
- 4.（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

#### 人文社会科学部 現代社会学科

現代社会学科には「メディア文化メジャー」「国際・地域共創メジャー」があります。そこでは、現代のさまざまなメディアの特質についての学びを通じて表現力・発信力を鍛えるほか、社会学、地理学、政治学、国際学などのアプローチによる国内外の地域課題の調査から、解決策を提案する力を養います。それにより、多様な人々との対話と協働をとおして現代社会におけるさまざまな課題を見だし、地域活性化や文化の創造に携わっていきけるような人材を育成します。

したがって、現代社会学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

- 1.（知識・技能）現代社会学科における専門分野の学修に必要な基礎学力
- 2.（知的関心）
  - ア）現代社会におけるメディア、地域または国際社会についての広い知的関心
  - イ）現代社会における諸問題を、社会学、地理学、政治学、国際学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲
- 3.（思考力・判断力・表現力）
  - ア）現代社会におけるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
  - イ）現代社会におけるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
- 4.（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

入学者に  
求める能力  
・資質

<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 現代社会におけるメディア、地域及び国際社会に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>
--	--

人文社会科学部 法律経済学科	
<p>入学者に 求める能力 ・資質</p>	<p>法律経済学科には「法学メジャー」「経済学・経営学メジャー」があります。そこでは、法学、経済学、経営学を中心に関連する学問分野を総合的に学び、生活者や企業の抱えるさまざまな問題に法的アプローチによって対応したり、市場の役割・企業活動の意義を認識し経済政策やマネジメントを構想したりすることにより、地域の持続的発展に貢献できる理論的・実践的な課題解決能力を持つ人材を育成します。</p> <p>したがって、法律経済学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <p>1. (知識・技能) 法律経済学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) ア) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割についての広い知的関心 イ) 社会における諸問題を、法学、行政学、経済学、経営学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) ア) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲</p>
<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料読解のための英語に関する基礎学力 3) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>

人文社会科学部 人間文化学科	
<p>入学者に 求める能力 ・資質</p>	<p>人間文化学科には「文芸・思想メジャー」「歴史・考古学メジャー」「心理・人間科学メジャー」があります。そこでは、人文諸科学の幅広い学びを基礎とし、心やことばの問題をとおして人間の本質を探究するとともに、日本および世界の諸地域の歴史や文化についての理解を深めることにより、人間とその文化の深層を見抜き、よりよい人生、よりよい社会の構想を提案できる力を身に付けた人材を育成します。</p> <p>したがって、人間文化学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <p>1. (知識・技能) 人間文化学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) ア) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化についての広い知的関心 イ) 人間文化の諸問題を、文学、哲学、言語学、史学、考古学、心理学、文化人類学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) ア) 人間文化に関わるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲</p>
<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>

## 教育学部

### [入学者に求める能力・資質]

教育学部では、実践的指導力のある教員を養成することをめざしています。私たちを取りまく世界は目まぐるしく変化しています。このような現代の社会にあって、教員に求められていることは、人間・社会・自然についての知的探求心を基礎にした確かな教育的実践力です。教育学部では、十分な専門的知識と子どもの成長や発達に対応した教育的方法を身に付け、さらに教育に関わる幅広い視野をもった、人としての魅力と実力のある教員を養成します。

したがって、教育学部においては、全学のアドミッション・ポリシーで示される4つの能力ないし資質に加え、以下の能力・資質を入学者に求めます。

1. 教員になるための学修に必要な、各教科についての幅広い知識
2. 教育への関心と教員になりたいという強い意欲

さらに、学校教育教員養成課程の各コースでは、学部全体で求める能力・資質に加え、それぞれ以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・(教育実践科学コース) 学校や子どもを巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力
  - ・(教科教育コース) 各選修の教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力
  - ・(特別支援教育コース) 障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力
- また、養護教諭養成課程では、学部全体で求める能力・資質に加え、以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。
- ・健康や病気についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

#### 教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修

入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 英語と日本語で他者とコミュニケーションする能力と基礎的な英語力 4) 異文化を積極的に理解し学ぼうとする意欲
--------------------------------	---

#### 教育学部 養護教諭養成課程

入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 養護教諭になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、子どもの発育・発達や健康への関心と養護教諭になりたいという強い意欲 3) 子どもの健康や病気についての基本的な知識とその向上に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して問題解決に取り組むためのコミュニケーション能力
--------------------------------	---

## 理学部

### [入学者に求める能力・資質]

理学部は、自然科学に関する真理、原理、理論を論理的、かつ、合理的に理解することを目指す学部です。本学部は、1学科6コース制を導入しており、理学科の中に数学・情報数理、物理学、化学、生物科学、地球環境科学、学際理学の6コースがあります。理学部では、各専門分野の学修を通して得られる高い専門知識だけでなく、幅広い知識と能力を身に付けるとともに、柔軟な思考力及び問題解決能力を有する「理学スペシャリスト」として、社会が直面する諸課題に積極的に取り組み、広く社会の発展に貢献することができる人材の育成を目指しています。

したがって理学部入学者には、以下の能力を求めます。

1. (知識・技能) 数学、理科の基礎知識及び論理的思考力を身に付けていること  
国語、外国語、地理歴史又は公民の基礎的な知識も有し、論理的な文章を作成できること
2. (知的関心) 自然及び社会に起きている出来事に対する幅広い関心を有していること
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、課題解決をめざして思考力・判断力・表現力を用いた経験がある、あるいはそのような経験をしたいという意欲を有していること
4. (主体性) 自然科学の分野において探究活動を行う意欲と主体性を有していること

理学部 理学科 数学・情報数理コース	
入学者に求める能力・資質	理学科数学・情報数理コースでは、数学を基礎として論理的思考力を養うとともに情報科学の手法も学び、真の分析能力・問題解決能力を持つ人材の育成を目指しています。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、特に数学Ⅲまでの内容をしっかり学んでいることを求めます。表面的な解法パターンを覚えるのではなく、なぜそうなるかを粘り強く考え、その上で他の人に数式を用いて説明できる力を養うことが大切です。このような努力を積むことで数学自体の理解が自然に深まると考えています。
入学者選抜における評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 数学Ⅲまでの内容の理解度と数式を用いて説明する能力。 3) 数学・情報数理に対する関心の深さ、思考力、判断力、表現力。 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、数学や理科に関する課題研究などの経験。

理学部 理学科 物理学コース	
入学者に求める能力・資質	物理学は、物質の性質をはじめ、物質のミクロな根源である素粒子からマクロな宇宙まで、幅広い対象を扱います。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、これらを深く学ぶ際の原動力となる、自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力を、様々な教科を通じて育てていることを求めます。また、物理学は、物理現象の定式化とその検証による精密化を通じて発展してきた積み上げ型の学問です。その修得には、目の前の困難に向き合ってねばり強く取り組む姿勢が必要です。
入学者選抜における評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 物理学の基本的知識、基礎的素養及び数学的思考力。 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力、判断力、表現力。 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験。

理学部 理学科 化学コース	
入学者に求める能力・資質	化学は、原子・分子・化合物など、物質を通して自然現象の理解とその応用を行う学問です。化学コースでは、種々の物質の構造、反応、性質及び自然界における循環などのしくみを化学的に理解し、化学の知識と技術を活かして社会に貢献する意欲を有することを求めます。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、理系科目全般を学び、自然現象に対する論理的思考力と知的好奇心を育てていることを求めます。化学については基本的な概念や原理を理解し、化学の法則に従って観測される現象を説明できることが求められます。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。
入学者選抜における評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 化学の基本的知識と思考力。 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力。 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験。

理学部 理学科 生物科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>今日、社会のいたる所で生物学に関する知識と思考力が求められています。生物科学コースでは、さまざまな生命現象や生物の多様性への強い興味と関心、それらに関する未知の課題に積極的に取り組む姿勢を求めています。また、柔軟な思考力をもち、科学技術や社会の発展に貢献する意欲を有することを求めます。</p> <p>したがって、入学者には特に、大学での学修に必要な基礎学力と論理的思考力を備えていることを求めます。「生物基礎」の全ての範囲及び「物理」、「化学」、「生物」のいずれかの科目を学び、理学分野の基礎を確実に身に付けていることが必要です。また、論理的思考及びコミュニケーションのために必要な言語力を身に付けていることを求めます。</p>
入学者選抜における評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</li> <li>2) 理科の基本的知識と思考力。</li> <li>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力。</li> <li>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力。理科や数学に関する課題研究などの経験。</li> </ol>

理学部 理学科 地球環境科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>理学科地球環境科学コースでは、地球及び太陽系の起源・歴史やそこで生じる様々な現象に加え、社会に直接関係するグローバル及び地域的な環境問題や様々な自然災害などについて学び、研究します。</p> <p>したがって、入学者には特に、地球・太陽系における様々な現象や環境問題・自然災害に対する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力を求めます。さらに、地球環境科学の課題に取り組むためには、論理的思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜における評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</li> <li>2) 理科の基本的知識と思考力。</li> <li>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力。</li> <li>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力。理科や数学に関する課題研究などの経験。</li> </ol>

理学部 理学科 学際理学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>自然界の様々な現象は、物理・化学・生物・地学・数学という基本的な学問分野に留まらず、それらの分野の間に横断的に広がっています。学際理学コースでは、複数分野の基礎を体系的に学ぶことにより、学際的視点を獲得し、自然界の様々な現象に果敢に挑戦できる能力の育成を目指しています。</p> <p>したがって、入学者には、幅広い自然科学現象、特に学際性の高い科学領域に関する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力が求められます。さらに、科学的な課題に取り組むためには、論理的な思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜における評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</li> <li>2) 理科の基本的知識と思考力。</li> <li>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力。</li> <li>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力。理科や数学に関する課題研究などの経験。</li> </ol>



## 工学部

### [入学者に求める能力・資質]

工学部では、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、工学系専門技術者として、人々と協働して課題解決をめざし、社会の持続的な発展に貢献し、地域の活性化に自ら進んで取り組む、高度科学技術を実践する人材を育成しています。

したがって、工学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. (知識・技能) 工学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
  2. (知的関心) 工学及びその周辺分野における地域から地球に至るまでの様々な規模での社会の課題に対する幅広い知的関心
  3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、工学について他者と共に課題解決をめざした経験及びそのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいはそれらを身に付けたいという意欲
  4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) これまでの学習と生活において、工学に関して多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
- 上記でいう工学には、数学・理科・情報などの工学の基礎も含まれます。

工学部 昼間コース 機械システム工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>機械システム工学は従来の機械工学と情報工学の高度な融合により、自動車・鉄道などの交通機械や火力・風力・水力・原子力発電システムなどの社会インフラを支えるエネルギー機械、人工知能・ロボット・医療機器・介護機器などの人の活動を支援する機械、これらの機械を作り出すための材料加工や設計・製造システムなど、わたしたちの生活に役立つ最先端の機械システム技術を創造する学問です。機械システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での機械システム工学分野の学修を行うための基礎学力、とくに十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って機械システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。</li> <li>2) 機械システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲</li> <li>3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力</li> <li>4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲</li> </ol>

工学部 昼間コース 電気電子システム工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>電気電子システム工学は、目に見えない電子や電磁波を高度にコントロールして、電子デバイスや電気機器の開発・設計、電力や情報の創生・伝送・蓄積・制御などに応用する学問分野です。電気電子システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での電気電子システム工学分野の学修を行うための基礎学力、とくに十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って電気電子システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。</li> <li>2) 電気電子システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲</li> <li>3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力</li> <li>4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲</li> </ol>

工学部 昼間コース 物質科学工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>物質科学工学科では、金属、有機・無機物質、セラミックス、半導体、高分子、医薬、農薬、生体物質、生体材料、医用材料など多岐にわたる物質の構造と機能を原子・分子レベルで理解することで、新しい物質や材料の設計・製造およびハイブリッド化への応用を可能にし、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での物質科学工学分野の学修を行うための基礎学力、とくに十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って物質科学工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。</li> <li>2) 物質科学工学に関わる課題に対する関心と学修意欲</li> <li>3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力</li> <li>4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲</li> </ol>

工学部 昼間コース 情報工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>コンピュータとインターネットは流通・金融・製造など社会のさまざまな分野で必要不可欠であり、これらを合理的に扱うためにソフトウェアが必要です。情報工学は、情報の発生・伝達・収集・蓄積・処理を扱い、情報を体系的に管理する総合的な学問です。情報工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での情報工学分野の学修を行うための基礎学力、とくに十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って情報工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。</li> <li>2) 情報工学に関わる課題に対する関心と学修意欲</li> <li>3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力</li> <li>4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲</li> </ol>

工学部 昼間コース 都市システム工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>理想の都市は「安全」で「環境」に優しく「快適」な空間であることが望まれます。都市システム工学科では、この「安全」「環境」「快適」の3要素をシステムとして扱うため、土木工学、環境工学、建築学および都市計画学などを学修します。そして、地域から世界まで幅広い分野で活躍できる技術者の育成を目指した教育を行います。</p> <p>したがって、大学での都市システム工学分野の学修を行うための基礎学力、とくに十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って都市システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。</li> <li>2) 都市システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲</li> <li>3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力</li> <li>4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲</li> </ol>

## 農学部

### [入学者に求める能力・資質]

農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. (知識・技能) 農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. (知的関心) 農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

農学部 食生命科学科	
入学者に求める能力・資質	食生命科学科では、生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。 したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身につけてきてほしいと願います。
入学者選抜における評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物・化学、英語における十分な学力 3) 安全な食の実現と生命機能の解明に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題と向き合う協働体験や意欲

農学部 地域総合農学科 農業科学コース	
入学者に求める能力・資質	地域総合農学科農業科学コースでは、農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の農業技術の発展に貢献する人材を育成します。 したがって、生物学を中心とした「農学」の幅広い基礎学力・興味を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身につけてきてほしいと願います。
入学者選抜における評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物又は化学、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する新しい時代の農業技術に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲

農学部 地域総合農学科 地域共生コース	
入学者に求める能力・資質	地域総合農学科地域共生コースでは、美しい農村の景観をまもり、地域・農産物のブランド力を高め、災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し、豊かな地域の未来を創造できる人材を育成します。 したがって、理系科目、文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち、未来に向けた地域づくりと、世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローバル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身につけてきてほしいと願います。
入学者選抜における評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な物理又は化学又は生物、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する技術や政策に対する幅広い関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲

## 1. 募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程 等	募集人員	
人文社会科学部	現 代 社 会 学 科	若干名	
	法 律 経 済 学 科	若干名	
	人 間 文 化 学 科	若干名	
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	若干名	
	養 護 教 諭 養 成 課 程	若干名	
理 学 部	理 学 科	数 学 ・ 情 報 数 理 コ ー ス	若干名
		物 理 学 コ ー ス	若干名
		化 学 コ ー ス	若干名
		生 物 科 学 コ ー ス	若干名
		地 球 環 境 科 学 コ ー ス	若干名
		学 際 理 学 コ ー ス	若干名
工 学 部	昼 間 コース	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名
		電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	若干名
		物 質 科 学 工 学 科	若干名
		情 報 工 学 科	若干名
		都 市 シ ス テ ム 工 学 科	若干名
農 学 部	食 生 命 科 学 科	若干名	
	地 域 総 合 農 学 科	若干名	

## 2. 出願要件

下記の（１）から（４）までの要件を全て満たす者

（１）日本国の国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者

※ 日本国の国籍を有しない者であっても、日本国の高等学校等を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。

（２）日本国の出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

（３）次の①，②のいずれか一つを満たす者

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和４年３月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

② 次のいずれか一つの資格を有する者

ア スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

イ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格

ウ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

（４）独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（令和２年11月実施分又は令和３年６月実施分。出題言語は日本語とする。）及びその他のTOEIC等の試験を受験し、各学部、学科・課程等で設定する基準を次ページの表のとおり満たしている者

※ 本学の各学部、学科・課程等が指定する日本留学試験の教科・科目及びその他の必要な試験を受験しなかった者は出願できません。

表中の○印は受験を要することを示し、×印は受験を要しないことを示します。

学部, 学科・課程等		日本留学試験 (出題言語: 日本語)					その他 試験等
		日本語	総合 科目	理科	数学	得点要件	
人文 社会 科学 部	現代社会学科	○	○	×	×	日本語の聴解・聴読解, 読解の合計点, 記述の得点及び総合科目の得点の全てで平均点以上取得していること	○TOEIC (※2)
	法律経済学科						
	人間文化学科						
教育 学部	学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語 選 修	○	×	×	×	日本語の聴解・聴読解, 読解の合計点及び記述 の得点をと もに平均点以上取得 していること	○(※3)
	養護教諭養成課程						×
理 学 部	理 数学・情報数理コース	○	×	○(※1)	○(コース2)	日本語(聴解・聴読解, 読解, 記述の合計点)の得点を300点以上取得していること	○TOEIC (※2)
	学 物理学コース						
	学 化学コース						
	科 生物科学コース						
	地球環境科学コース						
	学際理学コース						
工 学 部	昼 機械システム工学科	○	×	○ (物理及び 化学)	○(コース2)	日本語(聴解・聴読解, 読解, 記述の合計点), 理科(物理及び化学)及び数学(コース2)の合計点を550点以上取得していること	○TOEIC (※4)
	電気電子システム工学科						
	都市システム工学科						
	コ 物質科学工学科	○	×	○(※1)	○(コース2)	日本語(聴解・聴読解, 読解, 記述の合計点), 理科(物理・化学・生物のうち2科目)及び数学(コース2)の合計点を550点以上取得していること	
	ス 情報工学科						
農 学 部	食生命科学科	○	×	○(※1)	○ (コース1 又は2)	—	○TOEFL (※5)
地域総合農学科							

(※1) 物理・化学・生物から2科目自由選択

(※2) TOEIC L&Rを受験し, 400点以上を取得していること(受験時期を問わない)

(※3) 出願締切日から遡って2年以内にTOEFL iBT, The revised TOEFL Paper-delivered Test, TOEIC L&R又はIELTS(アカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール)を受験していること

(※4) TOEIC S&Wのスコアを2.5倍してTOEIC L&Rのスコアに足した合計点で625点以上を取得していること。

なお, TOEIC S&WとTOEIC L&Rのうち1つのみを受験し, 625点以上 (TOEIC S&Wの場合は取得したスコアを2.5倍して算出すること) を取得している場合も出願要件を満たしていることとします。(受験時期を問わない)

(※5) TOEFL iBTを受験し, 45点以上を取得していること (スコアは有効期限内に限る)

### 3. TOEFL, TOEIC及びIELTSの成績証明書 (出願資格として求めている学部, 学科・課程等の志願者のみ)

#### <人文社会科学部及び理学部志願者>

TOEIC L&Rの成績証明書の**原本**を1部提出してください。(受験時期を問いません。)

#### <教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース英語選修志願者>

本学の出願締切日から遡って2年以内に受験したTOEFL iBT又はThe revised TOEFL Paper-delivered Test, TOEIC L&R又はIELTS(アカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール)のいずれか一つの成績証明書の**原本**を1部提出してください。

#### <工学部志願者>

TOEIC S&W及びTOEIC L&Rの成績証明書の**原本**を提出してください。

#### <農学部志願者>

TOEFL iBTの成績証明書の**原本**を1部提出してください。(有効期限内のスコアに限ります。)

#### ○TOEFLの成績証明書の提出方法

Official Score Report (公式スコアレポート)が, 出願期間最終日までにETSから下記提出先に直接届くように, 所定の手続きをしてください。なお, 本学のDIコードは「3402」です。

【提出先】 Admissions Division, Ibaraki University,  
2-1-1 Bunkyo, Mito, Ibaraki 310-8512 JAPAN

#### ○TOEICの成績証明書の提出方法

Official Score Certificate (公式認定証)の**原本**を, 他の出願書類と一緒に提出してください。**※返却しません。**

#### ○IELTSの成績証明書の提出方法

Test Report Form (成績証明書)が, 出願期間最終日までにブリティッシュ・カウンシルから下記提出先に直接届くように, 所定の手続きをしてください。

【提出先】 Name of Person/Department: Admissions Division  
Name of College/University/Organization: Ibaraki University  
Address: 2-1-1 Bunkyo, Mito, Ibaraki 310-8512 JAPAN

なお, TOEFL及びIELTSの成績証明書は, 本人が実施団体に申請することにより大学へ直接送付されるため, 送達に時間がかかるので, 日程に余裕をもって手続きしてください。出願期限までに大学に送達されない場合は, 出願を受理しません。

## 4. 選抜方法

出願要件で指定する日本留学試験の教科・科目の成績及び下記の表に示す学力検査等の結果を総合して判定します。

なお、本学の各学部、学科・課程等が課す面接等のうち一つでも受験しなかった者は、合格者判定の対象になりません。

学部、学科・課程等		学力検査等	選抜方法等
人文社会科学部	現代社会学科	面接	10～15分程度の個人面接を行い、志望動機、志望学科の教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみます。なお、面接の参考とするため、面接の前に日本語で作文を書かせます。
	法律経済学科		
	人間文化学科		
教育学部	学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語 選 修	面接	面接は口頭試問を含み、個人面接を10～20分程度で行います。志望動機、教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみるため、日本語及び英語による質疑応答を含みます。
	養護教諭養成課程		面接は口頭試問を含み、個人面接を10～20分程度で行います。志望動機、教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみるため、日本語による質疑応答を含みます。
理学部	数 学 ・ 情 報 数 理 コ ー ス	面接(*1)	20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、数学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。
	物 理 学 コ ー ス		20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、数学、物理及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。
	化 学 コ ー ス		20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、理科及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。
	生 物 科 学 コ ー ス		
	地 球 環 境 科 学 コ ー ス		
	学 際 理 学 コ ー ス		
工学部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	面接	日本語による個人面接を10分程度で行い、機械システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、電気電子システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	物 質 科 学 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、物質科学工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	情 報 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、情報工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
	都 市 シ ス テ ム 工 学 科		日本語による個人面接を10分程度で行い、都市システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。
農学部	食 生 命 科 学 科	面接(*1)	20～30分程度で行い、それぞれの学科で学ぶ目的意識、一般知識及び日本語能力をみます。同時に口頭試問では、理科の基礎学力及び日本語による表現力をみます。
	地 域 総 合 農 学 科		

(\*1) 理学部及び農学部の面接（口頭試問を含む。）は個人面接で行います。



## 5. 配点

表中の斜線は、「学力検査等を課さないもの」又は「提出を要しないもの」、ハイフンは、「出願要件確認のために提出を求めるもの」を表します。アスタリスクは面接の参考資料として利用することを表します。

学部	学 科	日本留学試験				TOEIC	出身学 校 成績 等 出 成 身 学 校 証 明 書 等	面 接	合 計
		日本語			総 合 目 科 目				
		聴 解 聴 読 解	読 解	記 述					
人文 社会科 学部	現 代 社 会 学 科	200	200	50	200	—	—	200	850
	法 律 経 済 学 科	200	200	50	200	—	—	100	750
	人 間 文 化 学 科	200	200	50	200	—	—	100	750

学部	課 程 等	日本留学試験				TOEFL TOEIC IELTS	出 成 身 学 校 証 明 書 等	面 接	合 計
		日本語			総 合 目 科 目				
		聴 解 聴 読 解	読 解	記 述					
教育 学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程 教 科 教 育 コ ー ス 言 語 ・ 社 会 教 育 系 英 語 選 修	200	200	50	/	(*)	(*)	600	1050
	養 護 教 諭 養 成 課 程	200	200	50	/	/	(*)	200	650

学部	学 科 等	日本留学試験							TOEFL TOEIC	出 身 学 校 成 績 証 明 書 等	面 接	合 計	
		日本語			理 科			数 学					
		聴 解 聴 読 解	読 解	記 述	物 理	化 学	生 物						
理 学 部	理 学 科	数 学 ・ 情 報 数 理 コ ー ス	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	300	1150	
		物 理 学 コ ー ス	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	300	1150	
		化 学 コ ー ス	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	300	1150	
		生 物 科 学 コ ー ス	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	300	1150	
		地 球 環 境 科 学 コ ー ス	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	300	1150	
		学 際 理 学 コ ー ス	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	300	1150	
工 学 部	昼 間 コ ー ス	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	200	200	50	100	100	/	200	(*)	(*)	200	1050
		電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	200	200	50	100	100	/	200	(*)	(*)	200	1050
		物 質 科 学 工 学 科	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	200	1050	
		情 報 工 学 科	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	200	1050	
		都 市 シ ス テ ム 工 学 科	200	200	50	100	100	/	200	(*)	(*)	200	1050
農 学 部		食 生 命 科 学 科	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	200	1050	
		地 域 総 合 農 学 科	200	200	50	200 (100+100)		200	(*)	(*)	200	1050	

TOEFL, TOEICの欄については、理学部はTOEIC、工学部はTOEIC、農学部はTOEFLを対象としています。

## 6. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、茨城大学バリアフリー推進室にご相談ください。

相談は、志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

### (1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を**令和3年8月20日（金）までに提出してください**。なお、期限までに提出できなかった者は、早急に茨城大学バリアフリー推進室まで連絡してください。期限を過ぎて提出した場合でも申請は受理しますが、配慮の可否等の通知が出願受付期間に間に合わないことがあります。

- ・受験上等配慮申請書（以下の作成様式を参考に作成してください。）
- ・医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し

※診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合はその旨を申し出てください。

### (2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について関係学部と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る者との面談等を行うことがあります。）のうえ配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請にあたってはあらかじめご了承ください。

### (3) 連絡場所及び提出先

茨城大学 バリアフリー推進室  
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1  
電話 029-228-8060

作成様式（A4判縦により作成してください。）

		令和 年 月 日	
茨城大学長 殿		申請者氏名 _____ 印	
受 験 上 等 配 慮 申 請 書			
令和4年度茨城大学入学者選抜を受験するにあたり、下記のとおり配慮の申請をします。			
記			
<small>ふりがな</small>			
1. 志願者氏名	年 月 日生（ 歳）	男・女	
2. 卒業(見込)学校名	年 月 日	卒業(見込)	
3. 志願者住所 〒	☎ ( ) -		
4. 志願予定選抜 私費外国人留学生選抜			
5. 志願予定学部, 志望学科・課程 (コース・系・選修)			
6. 受験上で希望する配慮内容及び理由			
7. 修学上で希望する配慮内容及び理由			
8. 出身学校での就学状況 (出身学校関係者等が具体的に記入) (記入者氏名・印)			
9. 添付書類			

(このページは空白ページです。)

## 入学者選抜に関する問い合わせ先

### ○ 茨城大学学務部 入学課入学試験グループ

電話 029-228-8576  
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

### その他の問い合わせ先

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ○ 学費の減免・徴収猶予について | 電話 029-228-8067 |
| ○ 奨学金について        | 電話 029-228-8593 |
| ○ 国際交流会館について     | 電話 029-228-8593 |
| ○ 入学手続について       | 電話 029-228-8414 |
| ○ 工学部（日立キャンパス）   | 電話 0294-38-5223 |
| ○ 農学部（阿見キャンパス）   | 電話 029-888-8519 |

### 茨城大学ホームページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/>

パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

【QRコード】



### 茨城大学携帯電話サイト

<https://daigakujc.jp/ibaraki/>

パソコン・携帯電話・スマートフォンからご覧いただけます。

両サイトとも、資料請求方法・出願状況速報等の各種選抜情報が閲覧できます。

（注）問い合わせは、志願者本人が行ってください。

受付時間：9時00分から17時00分まで（土・日曜日及び祝日を除く。）

### 不測の事態が発生した場合の対応について

災害や感染症のまん延等の不測の事態が発生した場合は、出願期間や選抜日程、実施方法等に変更が生じる場合があります。その際は、上記の本学ホームページによりお知らせしますので、出願・受験前には必ず確認してください。